

平成 27 年度から平成 30 年度までの 4 年の実績評価総括票

基本戦略 1 女性や若者が夢を抱いて活躍する洲本ならではの「しごと」のステージを創る

(1) 洲本市の強みを生かした産業の集積・企業誘致

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①企業面談を通して配布した企業誘致 PR チラシ枚数	200 枚 (H26)	1,000 枚	30 枚	50 枚	20 枚	15 枚 (115 枚)	<ul style="list-style-type: none"> 産業団地がなく、用地が限られているため、企業面談までいくケースは少なく、窓口や電話の問い合わせで終わることが多い。 用地情報を豊富にし、イベント時に PR し、企業面談に繋げたい。
②市有企業用地の売却成約件数 (H27～H31)	0 件 (H22～H26)	3 件	1 件	0 件	2 件	0 件 (3 件)	<ul style="list-style-type: none"> 目標値は達成しているが、市の企業用地が少なく、特に洲本地域にはない。 引き続き民有地も調査し、企業用地への活用を検討する必要がある。

(2) 起業支援・新産業の創出支援

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①起業・創業相談者数	16 人 (H26)	27 人	6 人	20 人	18 人	29 人 (73 人)	<ul style="list-style-type: none"> 起業に対する相談件数は、順調に増えている。 平成 27 年度から女性・若者起業支援事業を開始し補助金の交付を開始し、併せて相談業務を行ってきた。
②起業・創業者数	5 人 (H26)	8 人	0 人	12 人	5 人	13 人 (30 人)	<ul style="list-style-type: none"> 洲本市内で起業件数は着実に増加している。
うち女性・若者起業・創業者数	0 人 (H26)	6 人	0 人	8 人	5 人	6 人 (19 人)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年から 30 年で合計 30 件であった。

(3) 地域産業の振興と人材の確保

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
① 企業立地対策事業を活用した新規雇用者数 (H27～H31)	13人 (H22～H26)	45人	0人	0人	1人	0人 (1人)	・事業計画の変更や操業開始の遅れにより、目標値の達成はかなり遅れている。 ・事前に立地情報を把握し、制度をPRし利用を促していきたい。
② 個人または中小企業事業者に対する中小企業融資制度の利用促進件数	0件 (H26)	2件	0件	0件	0件	0件 (0人)	・利用者がいないことの原因としては、中小企業向けの公的融資制度が兵庫県にもあり、融資額・利率等が有利であることが考えられる。
③ 市内企業へのインターンシップ参加者数 (H27～H31)	0人 (H22～H26)	50人	21人	28人	21人	13人 (83人)	・事業規模や形態により、受入人数にばらつきがあるが、継続して受入している市内企業もある。 ・受入登録事業者数を増やし、学生に対し、市内企業を紹介し、就職につながる制度にしていきたい。
④ 研修受け入れ農家人数 (H27～H31)	1人 (H22～H26)	10人	12人	18人	6人	2人 (38人)	・平成 27～30 年度の4年間で、研修受け入れ農家人数(親方農家)の数は合計 38名となり、新規就農希望者のニーズに応えられる体制が整えられた。
⑤ 農水産業者が主体となった加工品やメニュー開発数	0件 (H26)	4件 (市連携)	3件	3件	3件	3件 (12件)	・毎年、市単事業により6次産業化に取り組む農水産業者を支援しており、その成果が出ている。 今後は、国・県等の事業の活用を促進し、更なる取組の進展を図る。
⑥ ふるさと産品直売店の売上額	77,800千円 (H26)	100,000千円	158,453千円	68,791千円	51,067千円	14,564千円 (292,875千円)	・平成 31 年 1 月 21 日に東京日比谷に洲本市拠点施設「すものおべんと」を開設した。店内では特産品や洲本の食材を使ったお弁当の販売のほか、洲本市の情報発信コーナーを設置し、観光、移住・定住、企業誘致、ふるさと納税などの洲本市の魅力ある情報を発信している。

基本戦略2 観光や暮らしの魅力を広く発信し、来訪者、移住・定住者を洲本へ呼び込む

(1) 都市圏からの移住促進

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
① U・J・Iターン就業PRをきっかけに、本市に帰郷し就職した人数 (H27～H31)	—	50人	1名	1名	2名	2名 (6名)	・就農セミナーを通じた新規就農者を、毎年確保できている。
② 定住促進事業 (お帰りのさいプロジェクト) の活用件数	291件 (H26)	350件	312件	308件	269件	254件 (1,143件)	・制度拡充を行ってきたが、人口減少により活用件数が減少傾向にある。島内2市も同じような制度があるため、洲本市の制度の魅力をさらにPRする必要がある。
③ 空き家改修支援制度を活用した移住・定住者 (H27～H31)	0人 (H22～H26)	30人	0件	4人	8人	12人 (24人)	・移住相談時に空き家バンクや空き家改修支援制度と一緒にPRすることにより、制度利用者の増加に努めた。移住促進に有効な制度となるよう拡充も行った。

(2) 地域資源を生かした交流の促進

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
① 都市部でのシティープロモーション活動実施回数 (イベント含む)	—	10回	6回	3回	3回	16回 (28回)	・定期的に首都圏での物産イベントに参加することにより、特産品の販売やふるさと納税や観光などのパンフレットを配布し洲本市の情報を発信できた。
② 移住・定住相談件数	36件 (H26)	100件	35件	81件	合計 141件 市窓口 42件 東京・大阪等移住 相談イベント 99件	合計 127件 市窓口 41件 東京・大阪等移住 相談イベント 86件 (384件)	・首都圏や関西圏において開催される移住相談会に積極的に参加した。また、島内2市や民間団体とも連携し、淡路島全体で相談体制を整えきめ細かな対応ができた。

③ まち歩きツーリズムの展開による観光客 入り込み数	—	50,000人	20,000人	未集計	23,500人	4,670人 (48,170人)	・現在、アルファビアミュージアムについては、用途が美術館と限られており、用途変更を含めたりノベーションが必要である。
-------------------------------	---	---------	---------	-----	---------	---------------------	--

(3) 集客力のあるイベントの開催

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①旅行代理店(旅行会社)との連携による「まつり」 「イベント」関連ツアー企画数	0件 (H26)	1件	0件	0件	1件	0件 (1件)	・淡路島観光協会など多様な団体との連携のもと継続して取組を進めていくことが重要と考える。
②映画やCMなどのロケ地として調査・撮影回数	43件 (H26)	55件	7件	7件	43件 撮影箇所：26箇所 撮影支援：17件	15件 撮影箇所：18箇所 撮影支援：2件 (72件)	・作品ありきの撮影なので、営業はできない。淡路島フィルムオフィスと連携し、情報提供に力を入れたい。いいとこすもとフォトコンテストの撮影ポイントなども提供できればと考える。

基本戦略3 洲本で出会い、ともに歩み、未来をつなぐ「ひと」の夢をかなえる

(1) 出会いの創出・結婚支援

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①未婚の異性が出会う機会の創出 (婚活イベントなど) を通してのカップルの成立数	0組 (H26)	2組	7組	4組	5組 (10名)	8組 (16名) (24組)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くのカップルが成立し、また、イベントを通して、洲本市の観光地・地場産品を紹介することができた。 ・イベント後のカップルの状況についても把握に努めたい。

(2) 妊娠・出産支援

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①妊産婦訪問指導率	81.2% (H26)	90%	97.4%	93.9%	93.8%	89.1% (93.55%)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中から支援が必要な妊婦を把握することができ、医療との連携や妊娠中の訪問支援等が可能になり妊婦訪問は増加傾向にある。 ・目標値の90%を維持しているが、里帰りや児の入院等で産後28日までに訪問できない場合には、子ども子育て課と連携し、こんにちは赤ちゃん事業で訪問しており、あわせるとほぼ100%となっている。

(3) 子育て支援

KPI (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①健康診査受診率	左記分類による						
① 4か月児健康診査	① 98.7%	① 100%	98.6%	98.4%	97.3%	97.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・約 95%は維持しているが、就労している保護者が多く、目標の 100%には達していない。 ・子育てをしている親子全体を対象とした目標設定項目としては良かったと思うが、目標値については現実的に不可能な目標値であったと考えます。
② 10か月児健康診査	② 96.2%	② 100%	98.3%	97.0%	94.6%	(98.05%) 96.5%	
③ 1歳6か月児健康診査	③ 94.9%	③ 100%				(96.6%) 94.9%	
④ 3歳児健康診査	④ 94.1%	④ 100%	96.5%	94.2%	94.8%	(95.1%) 98.5%	
	すべて (H26)		94.7%	95.5%	95.0%	(95.93%)	
②子育て支援協賛店舗数 (H27~H31)	0店 (H22~H26)	70店	30店	36店	35店	35店 (35店)	<ul style="list-style-type: none"> ・協賛店舗の伸びは横ばいである。全国展開している店舗は、全国共通協賛店に参加しているため重複した申請となるため理解が得られにくい。全国共通協賛店が 27 店舗あるので、洲本市単独分と合わせると 62 店舗となり、目標値に近い数値となる。

(4) 教育・スポーツ交流支援

KPI (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①トップアスリートとのイベント・走育プロジェクト開催回数	4回 (H26)	8回	合計 7回 トップアスリート: 3回 走育プロジェクト: 4回	合計 10回 キッズドリム スポーツチャレンジ: 3回 走育プロジェクト: 4回 すもとっ子 体操教室: 3回	合計 13回 キッズドリム スポーツチャレンジ: 5回 走育プロジェクト: 4回 すもとっ子 体操教室: 4回	合計 11回 キッズドリム スポーツチャレンジ: 2回 走育プロジェクト: 4回 すもとっ子 体操教室: 2回 体操プロジェクト: 3回 (41回)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度から公募型体操教室を開催し、改めて体操に対する保護者等のニーズの高さが分かり、平成 30 年度から、直接、幼稚園に訪問し指導を行うメニューの提供につながったことなどが成果として挙げられる。総じて、基準値を超える開催回数となった。

②中学生と大学生との交流機会の開催回数	1回 (H26)	10回	4回	5回	6回	5回 (20回)	<p>・より多くの中学生に事業効果が及ぶよう、当初の公募型から学校への出前講座型を中心に展開し、ニーズに応じた取組を行うことができた。</p> <p>また、参加者及び学校へのアンケートからも、大学生等から知恵、経験、生き方などを学ぶことで、子どもたちに将来に向かって目標を定めるきっかけを与えることができていることが、成果として現れている。</p>
---------------------	----------	-----	----	----	----	-------------	--

基本戦略4 魅力的でやすらぎのある「わがまち洲本」を創り守る

(1) 安全・安心な社会づくり

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①防災訓練・学習会の参加団体数	20 団体 (H26)	50 団体	18 団体	22 団体	25 団体	39 団体 (104 団体)	・平成 27 年度の 18 団体から倍増しており、順調に推移している。出前講座が好調によるものであるが、今後は出前講座以外の自主的な訓練などを増やしていきたい。評価指標の設定値としては、妥当と思考する
②危険空き家の除去軒数	0 軒 (H26)	5 軒	7 軒	19 軒	28 軒	49 軒 (103 軒)	・補助事業を活用しての除却は、年間 3 軒程度までとなっている。 また、所有者自身での除却、解体は毎年一定程度行われており、空家の除却・解体自体は年々増加している。 しかし、相続調査困難な空家や所有者等が特定されても対応しない空家が問題となっている。

(2) 町内会活動の支援・連携強化

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①つながり基金活用による自主活動件数	11 件 (H27)	18 件	20 件	30 件	20 件	39 件 (109 件)	・地方の人口減少・高齢化が進むなか、人的・財政的にも町内会運営が難しくなっている状況下で、町内会に活用いただいている。制度周知も進んでおり、活動件数も順調に推移している。

(3) 歴史をつなぐまちの基盤の充実

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①地域公共交通利用者の割合	5.7% (H26) (参考) H28 乗車人数 582,563 人	6.3%	未集計	未集計	(参考) 乗車人数 514,805 人	(参考) 乗車人数 519,302 人 (1,034,107 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地域に、コミュニティバスを新設し、公共交通利用者の増加を図ってきた。 ・一方、民間交通事業者においては、運転手不足による運行便数の減少を行ったため、乗車人数は減少となった。

(4) 広域連携の推進

K P I (重要業績評価指標)	基準値	目標値 (H31)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	総括
①定住自立圏構想対象実施事業数	17 事業 (H26)	20 事業	16 事業	16 事業	16 事業	15 事業 (15 事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度より南あわじ市が構想に加わり、淡路島一つとしての事業が可能となった。今後は既存の事業にこだわらず、3 市共通事業を新規に加えていきたい。